

会 議 要 旨 書

会議名	第 22 期三鷹市立図書館協議会 第 3 回定例会
日 時	令和 5 年 10 月 19 日（木）午後 2 時
場 所	三鷹市立三鷹図書館（本館）第 1 集会室
出席委員 （10 人）	岩橋達行 小谷奈保子 松田秀穂 土屋菜々 倉田清子 間部豊 青柳英治 下山佳那子 阿萬昭次 風間恵子 （敬称略）
行政職員 （7 人）	三鷹市教育委員会教育部長 伊藤幸寛 三鷹市立三鷹図書館館長 大地好行 三鷹市立駅前図書館担当課長 川島 敏彦 図書サービス係長 池上真理子 管理係長 榛澤孝 同係主任 飯泉路子 同係主事 岩崎祐美
会議の公開・非公開	公開
傍聴人数	0 人
【議事】 1 教育部長より報告 2 前回の協議内容の確認について 3 行政報告	伊藤教育部長 国立天文台周辺のまちづくりについて、国立天文台の北側部分に羽沢小学校・大沢台小学校の建替えと共に第七中学校と合わせた義務教育学校を作るプロジェクトがあります。そこで、西部図書館について、移転整備の検討が上がっています。市では特別委員会やプロジェクトチームも立ち上がっているので、事業の検討の状況に応じて図書館協議会にも情報共有やご意見等をいただきたい。 市議会の一般質問で読書通帳についての質問がありました。メリットデメリットあるかと思いますが皆様にご意見を伺いたい。 A 委員 大沢地域の既存の施設は全て取り壊して新たに建設するのでしょうか。 伊藤教育部長 羽沢小学校は浸水予想区域になっているので、高台に移転したいことと、大沢台小学校は、羽沢小学校の移転先が同小学校の学区内でもあり、老朽化も進んでいるため合わせて一つの学校を作る計画となっています。三鷹市は小中一貫教育も推進しているので中学校と合わせて義務教育学校という新しい学校を作る計画です。 意見なし 大地館長 10 月 1 日の人事異動の報告について報告 一般報告（実績等報告・予定等報告）資料に沿って報告 K G I と K P I について資料に沿って前回の補足説明 A 委員 行政報告の中で、母親学級図書館利用法紹介事業とありますが、これはブックスタートのことですか。 大地館長 母親学級に参加している人に対し、図書館の利用方法について説明する事業です。 A 委員 図書館フェスタの実施日は「文字・活字文化の日」に合わせているのでしょうか。

4 読書通帳について	大地館長 日程的に10月から11月にかけての土曜日に行っています。 B 委員 わん！だふる読書体験は、大変人気のある事業ですが、今回、参加人数が少なかったのは、募集人数を絞っているのでしょうか。 池上係長 犬の数もあるので、規定数を設けています。今回も応募人数が多かったので、申し込み順ではなく抽選としていますが、結果的に当日欠席者がいたため参加人数が少なくなっていました。 C 委員 読み聞かせ入門講座は、小学校の朝読書ボランティアの保護者を対象としているのですか。 池上係長 お見込みのとおりです。 C 委員 小学校の朝読書の読み手が少ない、と小学校から相談を受けますが、講座の受講者と朝読書の読み手のマッチングはどのようになっていますか。また、保護者以外にも一般の方を対象に広げてみてはどうでしょうか。 池上係長 この講座は、元々読み聞かせをしたい初心者の方を対象としているので、講座後のことについては考慮外になっていました。参加者は、保護者が多いです。今回は、平日参加しにくい方も参加し易いように開催日を土日にする工夫もしましたが、結果的には例年とあまり変わりませんでした。 B 委員 スクール・コミュニティ推進員連絡会で、朝読書を募集している人達が集まっているので、声をかけてもらえるとマッチングし易くなると思います。 D 委員 担当部署が違うかもしれませんが、母親学級のネーミングはいかがなものでしょうか。 池上係長 『母親学級』は母親になる女性を対象とするもので、女性自身の体調等についての内容があるようです。他に『両親学級』もあります。 A 委員 両親学級には図書館は参加しないのですか。 池上係長 現在、事業の対象としているのは、母親学級のみです。 E 委員 KGI・KPIについて、KGIは利用者アンケートを基に設定していると説明がありましたが、図書館独自でアンケートを行っているのですか。 大地館長 利用者アンケートについては、基本計画用に市全体として行っています。 C 委員 図書館独自のアンケートもあったと思います。 大地館長 図書館では点検評価のために毎年アンケートを行っており、図書館の一年間の事業について利用者の満足度を計っています。今回基本構想の改正案が作成され、施策の課題と方向性や目標値の設定を行っていますが、委員の皆様にはご意見があればパブリックコメントでお願いしたいです。 大地館長 読書通帳について資料と現物に沿って説明 A 委員 読書通帳とは、貸出履歴を記入するためのツールであり、利用者自身が管理するのが前提となります。 自書タイプは自分で記入していく物であり、利用者の貸出情報は利用しません。 お薬手帳タイプは図書館の貸出情報を使用してシールやレシートを出力し、それを貼付します。 上記2つは貸出履歴保護・情報セキュリティ保持の観点から問題はなさそうです。 預金通帳タイプは起票機を用意して外部システムへのコピーを
-------------------	--

	行う場合もあり、個人情報管理がポイントになります。 B 委員 読書通帳の利用対象が、大人向けなのか子ども向けなのかによっても考え方が違うと思います。子どもだったら、自書タイプは書き込めないと思います。 通帳型は近年、元となった銀行の通帳自体も無くなる方向にあるので、子どもにとって魅力的かどうかは疑問です。導入するのであれば、お薬手帳タイプかと思いますが、大人の読書記録としては情報が不足していると思います。小学生なら良いと思います。 F 委員 子どものためだけにやるという観点ではなさそうですね。図書館として全体的な効果がどうなるのかを考える必要があると思います。 E 委員 読書通帳についての意見ということですが、図書館としてどう考えているのか、それを踏まえて協議会として意見を述べるのであれば良いですが、漠然と個人的にどう思うのかと聞かれているのであれば、三者三様の意見を述べ合って意味があるのかと思うので個人的には述べ難いです。 読書通帳に関わる論点としては、個人のプライバシーを守る（貸出の履歴の保護）ことと図書館システムでのセキュリティ保持問題の2点です。これらがポイントです。具体的に導入が決まって、どういった業者のシステムを使うかによっても違ってくると思います。 一概に読書通帳の3つのパターンのどれが良いとか、そもそも導入すべきか否かというのは申し上げ難いです。 導入するとしたら、一つの契機として利用者数や貸出数が増えることはあると思います。小さな子が読書通帳に記帳することを目的とし、たくさん借りて読まずに返すのであれば読書通帳の趣旨に反します。それが目的となってしまうのは問題です。幼少期の読書記録を大人になって振り返るという目的であれば、それなりの意義はあると思います。図書館としてどこに目的をおくのかやはり重要になると思います。 D 委員 学習成果を可視化できるということで、賛成です。履歴を目で見て確認し、傾向を意識して今後の振り返りと計画に使用し、大人も子どもも利用出来ると思います。 学習成果が可視化出来ることによって、公立図書館の貢献度合いが分かります。 注意点としては、プライバシーの配慮は必ず必要です。残したくない履歴について、自分で残さないよう処理出来ることが必要で、そういう意味ではお薬手帳タイプが適していると思います。また、読書という観点だけでなく、図書館に限らない学習についてもその内容が記録出来ると、総合的に自分の興味が把握し易くなります。自分がどういった学習をしてきたかという履歴を残すお手伝いを図書館でするスタンスだと、利用者のメリットがあると思います。 G 委員 本を読むのが好きでない子が読書通帳によって増えるのであれば良いと思います。読書通帳に付随して、景品を配布している自治体もあるようですが、本に興味の無い子だとそれすらも興味がないと思います。導入する場合には、通帳タイプだと、機械のコストもかなりかかると思うので、お薬手帳タイプが良いのかと思います。幼児を対象にして親が読んであげた履歴や、その時の子どもの感じを書き留められるのも良いと思います。 H 委員 他の人の持っている読書通帳を見て、読書の動機づけになる子がどれだけいるのかなと思いました。図書館に行ってみようという気持
--	---

5 その他	ちになるのが重要だと思います。通帳タイプは効果があまりないのではと思いました。お薬手帳でシールタイプであれば、文字数も入るので、通帳タイプより良いと思います。タイトルが全て印字される方が履歴として振り返られます。自書タイプだとその場で記入しないとまとめて記入するようになってしまうと思います。これだと思う読書通帳のタイプがなかなか無いです。 C 委員 個人的には必要ないと思います。読書記録的な面と読書推進と図書館の利用促進を考えるとあっても無くても良いと思います。読書記録であれば、大人だったらアプリで良いし、子どもだと学校図書館での貸出情報が記録出来ないと意味がないです。イベント的な仕組みとしては良いと思いますが、システム導入費を考えればその費用は他に充てて欲しいです。子どもの読書推進であれば違うアプローチが良いと思います。 I 委員 過去の履歴を知りたいことがあったので、良いなとは思いますが、今はアプリを利用すれば良いと思います。子どもに関するいろんな手帳があり、管理は親がしているので、これ以上あっても管理しきれないです。子どもが学校で借りた本が印字されなければ、意味が無いです。利点もありますが個人的には必要無いと思います。子どもは一人1台タブレットがあるので、そこで図書館のサイトに入っで見られるような形になれば良いと思います。 J 委員 図書館で借りた本の履歴を見られるといいなと思っていましたが、アプリを利用できれば良いです。オーテピア高知の図書館がアプリを実施していて、貸出履歴の管理のほか予約・貸出延長も出来ますが、情報はスマホ内に保存される仕組みとなっているので問題ないです。子どもを対象と考えると、学校で借りた本の内容がわかるようになるなら良いと思います。タブレットでアプリを利用し自分が読んできた本が見られるのであれば良いと思います。銀行の通帳も無くなる方向の世の中では、逆行しているような気がします。 A 委員 意見としては、何のために読書通帳を導入するか、という図書館での狙いがないと導入の意味が無いのではないかと思います。個人の読書記録を残したいのであれば、既存の汎用的なアプリで十分対応出来るのではないのでしょうか。図書館で読書通帳を導入するのであれば、効果や目的を明確にする必要があると思います。 大地館長 読書記録を作ること自体には意義があると思っています。従来利用者アンケート等でも読書記録のニーズは一定数ありました。読書通帳については、利用者のタイプによって効果が違うように思います。委員の皆様のご意見を参考にさせていただいて、検討していきたいです。 A 委員 視察先について、次回検討のため資料等あるようでしたら、事務局から提供して欲しいです。 次回は 11 月 16 日木曜日午後 2 時から
-------	--